

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和6年度においては、次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、新大学キャンパスのエントランス部分の木質化を実施しました。
- また、区役所や本庁舎といった市民利用施設において、利用者が身近に木のぬくもりを感じられるよう窓口カウンター、椅子、屋外ウッドデッキ等の整備を実施しました。

□ 事業内容

新大学キャンパス整備事業（エントランスピロティ分）

（施設名 大阪公立大学 森之宮学舎）

- 設計コンセプトである「知の森」の具現化の一環として、広く市民等の目にとまる正面エントランスのピロティ軒天井において、国産木材により木質化を行った。

【事業費】 46,382千円（譲与税市46,382千円）

【実績】 大阪公立大学の新キャンパスの1階ピロティ軒天井



森之宮学舎の完成写真（提供：公立大学法人大阪）

□ 事業スキーム

- 設立団体である大阪府・大阪市から公立大学法人大阪へ施設整備費補助金を交付

□ 工夫・留意した点

- 設計コンセプトである「知の森」の具現化の一環として、広く市民等の目にとまる正面エントランスのピロティ軒天井において、地域産材（大阪府内産材）により木質化を行った。

□ 基礎データ

①令和6年度譲与額：337,851千円	②私有林人工林面積（※1）：0.00ha
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より